

総合防災訓練

平生町

下：救命作業、左：倒壊家屋対応



今回の訓練では、昨年より2年連続で発生した大規模な豪雨災害を踏まえ「8月28日からの県東部を中心とした豪雨に加え、29日早朝からの局地的な集中豪雨により、各地で土砂災害や浸水被害等は同時多発的に発生。また、29日午前9時30分、県東南部を中心に大竹断層を震源とした震度6弱の地震が発生。これに伴って多重衝突事故や住宅の倒壊、火災等が発生」

万一の災害に備え、住民や地域団体と県・市町などの防災関係機関が協働し、地域防災力の向上と防災関係機関の連携強化を目指すために、大規模な「山口県総合防災訓練」が行われました。

平成22年度は、8月29日、県東部に位置する平生町全域を会場として、130機関約2、800人の参加で26の訓練が実施されました。

深めよう 地域の絆と 防災意識

山口県総合防災訓練 2010 in 平生

■増加する大規模な自然災害。様々な想定で行われる訓練

という想定のもと、局地的豪雨と震災に対応した各種訓練を行いました。

■建設機械を巧みに操り訓練に参加



バックフォー操作誘導

柳井支部から(株)大池組の池岡一行さんと池岡功次さんが参加し、事故現場の木材をバックフォーで撤去する作業を行いました。巧みな操作と誘導で瞬く間に撤去が完了。障害物が排除された道路から、消防局と自衛隊による住民救出訓練にパトナタッチされました。

■建設機械を巧みに操り訓練に参加

■地域住民の安全と安心を守る！ 建設会社の役割とは

実際に災害が発生した場合、建設会社は、災害発生時の人命救助から道路などの復旧作業まで、様々な場面で災害に関わります。昨年7月の豪雨水害で田布施地域で冠水被害が発生した際、大池組では平生町・田布施町の道路の維持管理、通行止め箇所の誘導対応などを行いました。「近年は大雨による土砂災害が県内でも多く発生していますので、3日くらい雨が降り続けると、土砂崩れを引き起こす可能性が高い危険箇所へ出勤しますね。警戒地域へのパトロールも大切な仕事です。」と池岡功次さん。

日頃から危険な地域を把握し災害時に早めの対策や迅速な対応ができるよう、社内での意識統一も心がけています。

また今回の総合防災訓練では、参加者の他にも多数の見学者があり、災害に関する展示・体験コーナーに興味が足を運ばれていました。訓練の目的の一つに「住民地域団体の自主防災意識の高揚」があります。地域住民一人一人が防災に対する意識を高め、災害に対する日頃からの準備の大切さを再確認する機会になったのではないのでしょうか。



左：池岡一行さん、右：池岡功次さん